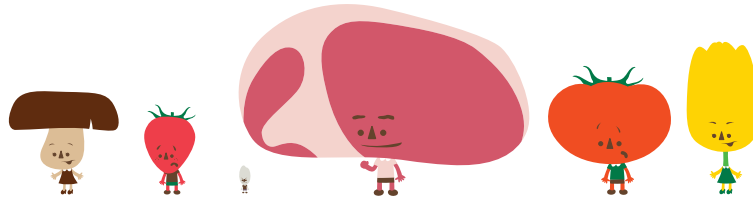


帰農支援プロジェクト

こせがれ はじめの一步



農家のこせがれネットワークを設立して2年。これまで出会った農家のこせがれは、約300人。彼らに出会ってわかったこと。

それは、農家を継いでいなくても、実家のこと、農業のことをまったく考えていない、あるいは、どうでもいいと思っているこせがれは、1人もいないという事実でした。

農業が家業である、農家というフィールドで育った自分の過去、地元が好き、親を置いてきてしまった後ろめたさ——。

そのような現実や思いをどこかにしまったままにしている自分は、これからどうしたらいいのか、考えていないこせがれには、会ったことがないのです。

農家のこせがれたちの、迷い、悩み、もやもやを整理して、次の行動につなげたい。

3年目を迎える今年、農家のこせがれネットワークは

「帰農支援プロジェクト こせがれはじめの一步」を立ち上げます。

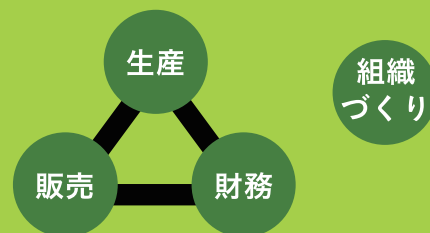
文字どおり、農家のこせがれが新たな一步を踏み出すためのプロジェクトです。

こせがれを 稼げる農家に

都心で働く農家のこせがれが、実家へ、地元へ戻ることをためらう理由。それは、実家を継いで本当に稼げるだろうかという不安、農家のこせがれだからといって農業が自分の適職なのかという戸惑い、女性の自分が農業で頑張れるのかという心配……、いろいろあります。

農家のこせがれが実家に戻って農業を継ぐには、“稼げる農家”になることが必須だと考えています。現時点で両親が就農していて、そこにこせがれが加わって世帯人数が増えたにもかかわらず収入が微増しかしないのであれば、稼げる農家になったとは言えないでしょう。こせがれが一人立ちしても十分な収入を得られることが、“稼げる農

稼げる農家に必要な3要素+1



家”の条件になると考えています。人によっては、就農する前の仕事の収入を超えることが、稼げるラインになるのかもしれませんが。

それには、経営者の視点で「生産・販売・財務」と「組織づくり」を考え、実行する力が必要であると思います。そこで、農家のこせがれネットワークは、“稼げる農家”になるためのはじめの一步として「こせがれナビ」を提供いたします！

まずはこせがれナビから 始まります

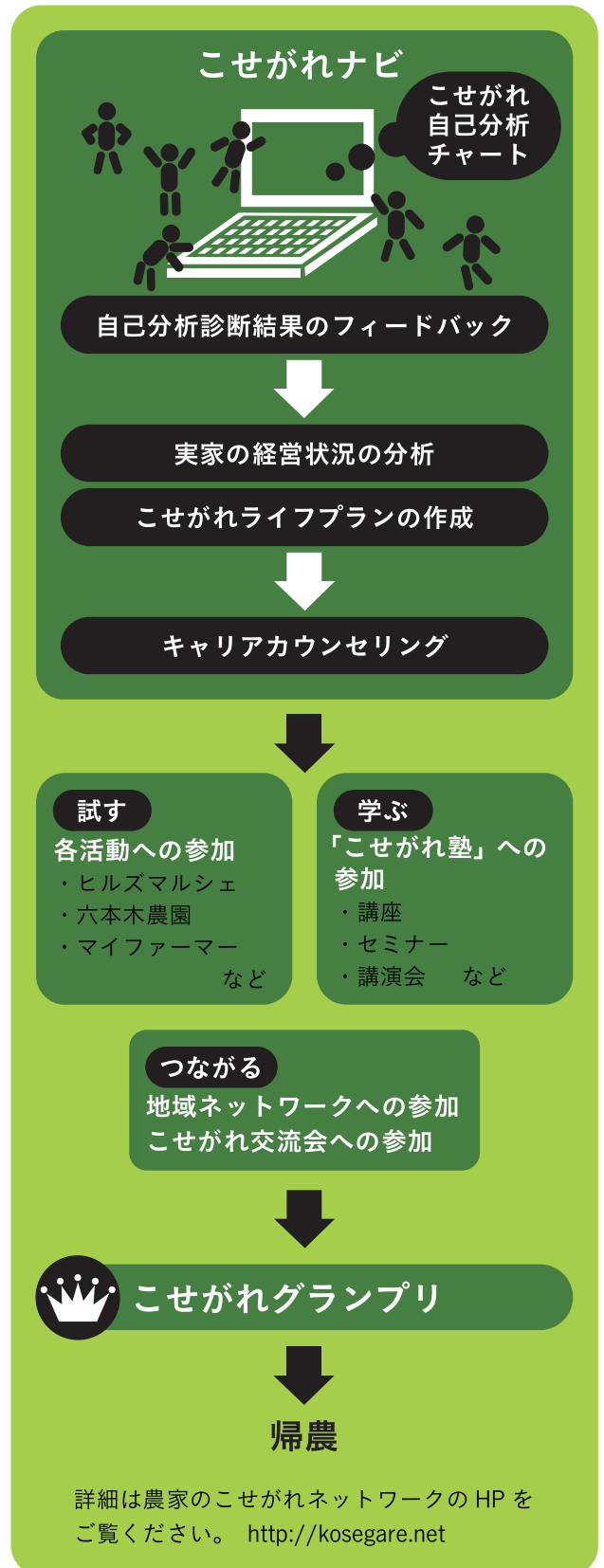
農家のこせがれネットワークが、農家のこせがれのためだけに提供するシステム。それが「こせがれナビ」です。こせがれナビは、WEB上の「こせがれ自己分析チャート」からスタートします。農家のこせがれに特化した質問項目に答えていくことで、農家を継ぐ・継がないという選択肢だけでなく、生産はせずにプロデュース役になる、地元の農家を束ねて新たな販売チャネルを作り出す、都市に残って両親の生産物をブランディングするなど、その結果から現時点での農業にかかわる仕事の適性をチェックできます。

実家の経営状況の分析にも取り組みます。親には聞きづらい内容もヒヤリングシートを使いながら把握し、それをもとにこせがれ自身のライフプランを立てていきます。こせがれ一人では考えこんでしまうことがあるかもしれません。そのような場合のために、農業や経営の専門家によるキャリアカウンセリングや個別に相談できる場も用意します。こせがれナビでは、経営者的な視点を持ちながら、自分の人生をみつめなおす機会をつくります。

学びの場 地元交流の場も作ります

ライフプランを進めるための学ぶ場も用意します。“稼げる農家”になるための3要素「生産・販売・財務」と「組織づくり」に的を絞って、農家のこせがれネットワークならではの講師陣をそろえたこせがれ塾（講座や講演会）を開催します。

また、地元でこせがれ同士が知り合えるネットワークを作っていきます。首都圏から参加するこせがれと、すでに就農している地元の先輩農家が交流できる場を設けます。これにより、就農した際のイメージも湧き、地元に戻る心強さも増してきます。これまで北海道、岩手、東京、愛知、大阪、島根、愛媛、福岡の8都道府県で交流の場を作ったほか、自発的にネットワークを作り始めたこせがれのいる県もあります。将来的には47都道府県で、農家のこせがれネットワークができるこ



とをめざします。

3年後には「こせがれグランプリ」を開催する予定です。こせがれナビやこせがれ塾を活用し、実家・地元へ戻る決意をしたこせがれが、自らのビジネスプランを宣言する場にしたいと考えています。